

**「学校」「未来」をテーマとしたトークイベントを6月10日(水)にクセスタで開催**

“学校が閉じる”を撮った、その20年後。新留小学校がひらく、地域と学びの未来



マクセル株式会社(以下、マクセル)は、アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都のマクセル「クセがあるスタジオ」にて、6月10日(水)に「学校」「未来」をテーマとしたトークイベントを実施します。企業・地域・教育・アートの垣根を越え、多様なプレイヤーとの交流を通じて新たな価値を創出し、社会貢献と企業価値の向上をめざします。

鹿児島県始良市蒲生町にある旧「新留小学校」は、かつて地域の中心として多くの人々の記憶をつないできました。その閉校は、2007年に放映したマクセルのドキュメンタリーCM「ずっとずっと。新留小学校」篇として記録され、大きな反響を呼び、「学校が閉じる」という出来事が地域や未来に与える影響を問いかけました。

現在、この新留小学校を再び「ひらく」プロジェクトが始動しています。めざすのは学校再開にとどまらず、学校を“コモンズ(共有地)”として再定義し、学び・地域・自然・経済・世代を横断した新たなつながりを生み出すとともに、地域の風景や関係性を未来へと継承しながら、新しい公教育のあり方を模索する取り組みです。

本イベントでは、蒲生出身で京都市立芸術大学 学長の小山田徹氏をゲストに迎え、私立新留小学校設立準備財団 共同代表の丑田俊輔氏・古川理沙氏とともに、「閉じる」から「ひらく」へと向かう学校の未来について対話を行います。イベント会場となるマクセルのオープンイノベーション拠点「クセがあるスタジオ」に、世代や立場を超えた多様な参加者が集い、「学校とは何か」「地域とは何か」、そして「次世代へどのような未来を手渡すのか」とともに考えます。

## ■ イベント概要

名称: “学校が閉じる”を撮った、その 20 年後。新留小学校がひらく、地域と学びの未来

パネリスト: 小山田徹氏(京都市立芸術大学 学長)、香月俊裕(マクセル)、  
丑田俊輔(私立新留小学校設立準備財団)

日時: 2026 年 6 月 10 日(水) 19:00~20:30 (18:30 開場)

会場: マクセル「クセがあるスタジオ」(アート&テクノロジー・  
ヴィレッジ京都内)

費用: 無料

参加: 事前申し込み不要、当日現地にてご参加ください。  
※定員 50 名。来場多数の場合は入場できない可能性もございます。

主催: マクセル株式会社

一般財団法人私立新留小学校設立準備財団

ゲスト:

小山田徹氏(京都市立芸術大学 学長)

1961 年鹿児島県生まれ。1981 年に京都市立芸術大学入学、日本画を学ぶ。在学中に友人たちとパフォーマンスグループ **dumb type** を立ち上げ、国内外での公演に数多く招かれる。活動の中で、メンバーの HIV 感染とエイズ発症を機に、さまざまな社会活動と表現のありかたを試すことになり、1998 年頃から、共有空間の獲得をテーマに活動を行う。焚き火場などさまざまな人々が集い、交流する空間や時間を開発し、社会実装を試みている。2010 年から本学の彫刻の専任教員となる。2021 年 10 月から美術学部長、2025 年 4 月から現職。



## ■ 商標

記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

## ■ マクセル企業サイトについて

名称:「クセがあるスタジオ」

場所: 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田 30 番地 1  
(アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都内)

事務局: マクセル株式会社 人事総務部 本社総務課

電話: 075-956-4143

## ■ アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都概要

場所: 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田 30 番地 1

事務局: 公益財団法人京都産業 21 イノベーション支援部

ATVK・先導プロジェクト推進グループ

ホームページ: <https://atvk.kyoto/>

■本件に関するお問い合わせ先

「クセがあるスタジオ」(クセスタ)専用メールアドレス:[kuse-ga-aruru-studio@maxell.co.jp](mailto:kuse-ga-aruru-studio@maxell.co.jp)

以上

---

ニュースリリース、お知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。

予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

---